

スマイル

明生リハビリテーション病院季刊誌 Vol.15



Photo
平成26年度
新入職員
集合写真

C ontents

- 2・3P 新入職員紹介
- 4P 訪問リハビリ 多摩湖駅伝
- 5P 入院患者統計データ
- 6P 健康コラム
- 7P りらいふ通信 地域医療連携室かわら版
- 8P 健康教室のお知らせ

新入職員紹介

Introduction of new staff

本年度も新たな仲間が増えました。
志をともしするスタッフの増員でますます
皆様のリハビリをよりよいものにして参ります。



看護師

西村 康弘

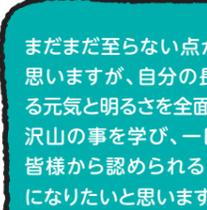
4月から3階病棟に配属になりました。フレッシュな新人さんに負けない様に頑張りたいと思います。



看護師

小島 佐知子

一生懸命頑張りますのでよろしくお願いします。



理学療法士

野口 貴義

まだまだ至らない点が多いと思いますが、自分の長所である元気と明るさを全面に出し、沢山の事を学び、一日も早く皆様から認められるスタッフになりたいと思います。よろしくお願いします。



理学療法士

加藤 羽衣

明るい雰囲気の中で働きたいと思い、明生リハビリテーション病院に来ました。元気と笑顔をもっとに日々精進していきたいと思っています。よろしくお願いします。



理学療法士

本田 恵美

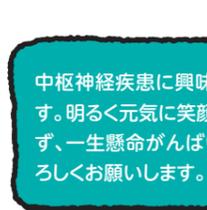
患者様がその人らしい生活が送れるようサポートしていきたいです。患者様と共に日々進化していきます。



理学療法士

中澤 貴史

興味のある分野は整形です。患者様に愛をもって全力で接していきたいです。よろしくお願いします。



理学療法士

正木 拓矢

中枢神経疾患に興味があります。明るく元気に笑顔を絶やさず、一生懸命がんばります。よろしくお願いします。



理学療法士

石川 真基

まだまだ分からないことが多く、慣れることが大変ですが、精一杯頑張っていきたいと思っています。よろしくお願いします。



理学療法士

滝田 真那美

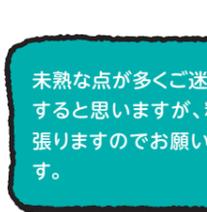
一日でも早く、皆様のお役に立てよう一生懸命がんばります。これからよろしくお願いします。



理学療法士

小林 宏輔

はじめまして、小林宏輔と申します。この度、明生リハビリテーション病院で働かせて頂くことになりました。早く、一人前になれるように頑張ります。



理学療法士

佐藤 逸美

未熟な点が多くご迷惑おかけすると思いますが、精一杯頑張りますのでお願いいたします。



理学療法士

上楽 尚広

実習で回復期病院を経験し、退院後の在宅生活を考えるに魅力を感じました。これからよろしくお願いします。



理学療法士

今井 悠生

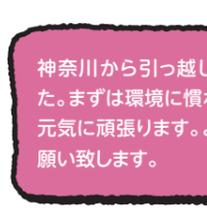
一緒にリハビリ出来ることを楽しみにしています。宜しくお願いします。



理学療法士

山下 裕貴

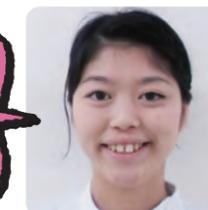
まず、あいさつを徹底し、一日でも早く業務を覚えるよう務めていきます。宜しくお願いします。



作業療法士

齋藤 美名子

神奈川県から引っ越して来ました。まずは環境に慣れ、笑顔で元気に頑張ります。よろしくお願いします。



作業療法士

引地 里奈

小さな体のわたしではありますが、人一倍動き回って笑顔で頑張っていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。



作業療法士

稲垣 絢子

まだまだ未熟ですが、目の前の仕事を着実にこなし、成長していけたらと思います。どうぞ宜しくお願い致します。



言語聴覚士

山本 亜由美

たくさん勉強して患者様の気持ちに寄り添える言語聴覚士になりたいと考えています。よろしくお願いします。

訪問リハビリ

訪問リハビリテーション 作業療法士 豊泉 睦

去年の10月より病棟勤務から訪問リハビリに移動しました。作業療法士の豊泉 睦です。

訪問リハビリは、ご本人様やご家族様の希望を聞きながら、ご自宅で必要な動作の練習や機能訓練を行っています。

最近では寒い冬から少しずつ暖かくなり、春らしくなってきたので、屋外の歩行訓練を始めています。先日もご本人様、ご家族様の希望もあり、桜満開の公園へ歩行訓練に行ってきました。お天気が曇り空でしたが、桜はちょうど見頃で、お花見気分を味わいながら楽しくリハビリが出来ました。

これからも、ご本人様やご家族様のニーズに答えながら、楽しく、ご本人様らしく生活を送っていただけるよう、サポートさせていただきたいと思っております。



多摩湖駅伝に参加してきました

看護師 小見野 智之

こんにちは。明生リハビリテーション病院3階病棟看護師の小見野です。去る3月21日に東大和市主催の多摩湖駅伝に参加してきました。病院からは多摩湖周回コースに2チームが参加。2階と3階でチームを作りました。1周7.242kmを1人1周し4人が魂のタスキを繋ぎます。

当日の天気は快晴。公園周回コースを走る小・中学生もたくさんいてとても和やかな雰囲気です。1週間前には参加メンバー数名でコースを下見で走っているの準備も万全です。しかし、スタートしてみると大学生ランナーに突き放され、着ぐるみランナーに追い抜かれていきます。なんとか次のランナーにタスキを渡して中継地点でへたりこみました。快晴だった天候は終盤は雪が降ってくる厳しい物となりましたが他のメンバーの頑張りがあり3階チーム2時間21分28秒で252チーム中134位、2階チーム2時間22分55秒で141位とまずまずの結果となりました。大変でしたけども来年もぜひ走りたい。一緒に走ってくれる仲間大募集です。



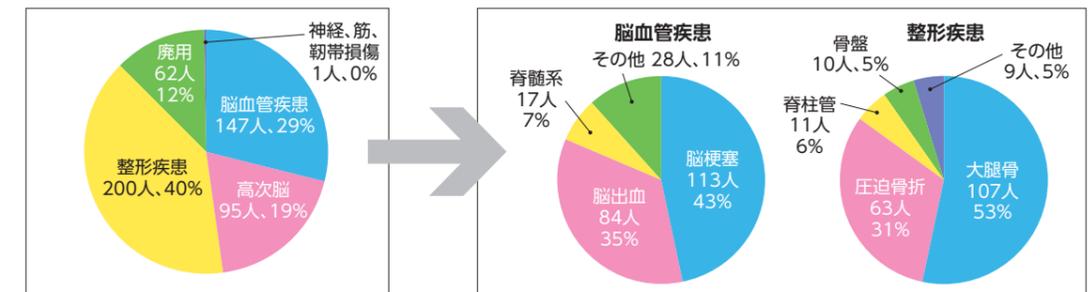
仲間募集

平成25年度 明生リハビリテーション病院 入院患者統計データ

(H25年4月～H26年3月)

平成25年度当院の患者動向・実績となります。今年度は診療報酬改定に伴い、より早期に重症度の高い患者様の高い患者様の積極的な受け入れを行い、在宅復帰を目指したリハビリを行う体制で取り組んでいきます。

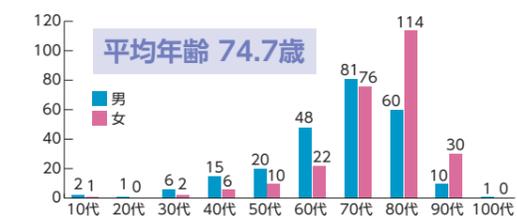
■入院患者様の疾病分類(患者数=505人)



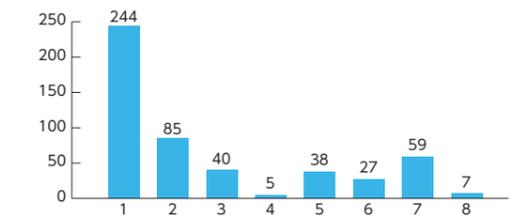
平均在院日数 82.5日

■脳血管疾患：94.7日 ■整形疾患：68.6日 ■廃用症候群：60.6日 ■神経・筋・靭帯損傷：57.0日

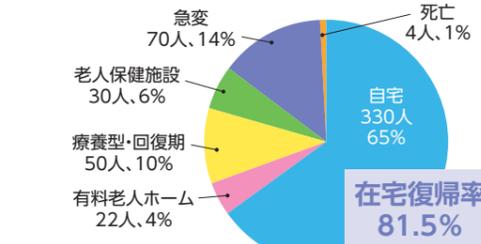
■入院患者様の年齢(患者数=505人)



■入院患者様の地域分布(患者数=505人)

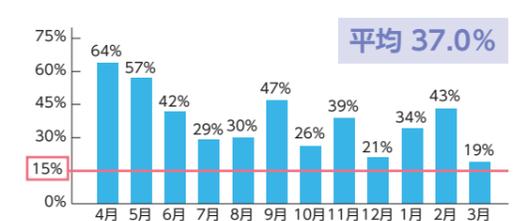


■退院患者様の退院先(患者数=506人)



※在宅とは、自宅・有料老人ホーム・特別養護老人ホーム等を含む

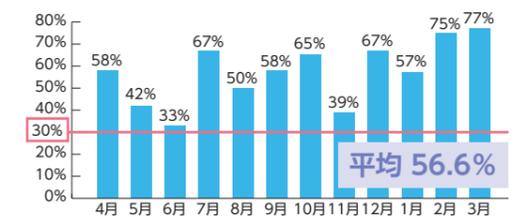
■看護必要度A項目



■重症度



■重症患者改善率





第8回 山田 達夫の健康コラム

一般社団法人巨樹の会 関東統括本部長
山田 達夫 (やまだ たつお)
 一般社団法人巨樹の会 関東統括本部長
 神経内科認定医 認知症専門医
 昭和23年生まれ 山梨県出身
 昭和49年：東京医科歯科大学医学部卒業
 平成 9年：福岡大学医学部神経内科学教室 教授
 平成23年：一般社団法人巨樹の会 関東統括本部長に就任

今回はチョットシタ工夫によって転倒予防効果をもたらした
 小金井リハビリテーション病院からの報告を取り上げさせていただきます。各職場で是非参考にしてください。

小金井リハビリテーション病院における転倒予防の取り組み —ごく少数のマンパワー増加で転倒は1/2となる—

小金井リハビリテーション病院 医療安全管理担当 伊藤真理

研究の背景

関東カマチグループのリハビリテーション病院では医療安全委員会の取り組みの軸を転倒予防において、さまざまな分析や実際の予防の取り組みをおこなってきた。文献等で転倒予防活動として実際に効果をあげた取り組みは決して多く報告されていない。その理由は転倒には様々な内外的要因が複合的に作用していることが多いことにある。今回のこの発表は誰でも予想できるマンパワー増加が、実際に転倒予防に効果を生むかどうかを検証したものである。

これまでの調査から、小金井リハビリテーション病院で転倒が頻発する時間帯は朝食前後(6時~8時)と夕食後(18時~20時)であることが示されていた。H25年1月~5月の期間で集計すると、早出・遅出時間の転倒率は2.0%/月、朝食前後と夕食後における転倒率は全転倒の54.4%であった。また、朝食前後の転倒場所は病室で、夕食後の転倒場所はデイルームであった。このような点からH25年度後半の医療安全の目標を「朝食前後と夕食後の時間帯の転倒数減少」とし、以下のような対策を構築した。

方法

H25年6月よりケアワーカー(CW)の早出(7時~15時30分)と遅出(12時30分~21時)勤務をそれぞれ1名から2名体制とする**マンパワーの増加と業務内容の見直し**を図った。朝食前後の6時~8時に関しては、早出CW1名は夜勤者とともに病室巡視を行い、更衣介助や排泄介助、デイルームへの誘導とコール対応を実施した。もう1名はデイルームの見守りを徹底した。夕食後の18時~20時に関しては、遅出CW1名は夜勤者と共に排泄介助、就寝準備とコール対応を行い、もう1名はデイルームの見守りを徹底した。ちなみに2名のCWの増加はあくまでも配置転換内の対応である。

結果

H25年6月~H26年2月までの9ヶ月間において、早出

と遅出時間の転倒率は1.0%/月に低下し(図1)、朝食前後や夕食後の時間帯での転倒割合は全転倒の34.7%/月に低下した(図2)。これは、**マンパワーの増加と業務内容の見直しにより**、患者様にスタッフが介入できる時間が増加し、転倒リスクの高い患者様への観察や介入が強化できた結果だと考えられる。すなわち看護部による転倒予防活動が活発になり、その結果が転倒数の減少にもたらされたと考えられる。

その結果、さらに進んでH25年10月から看護師の早出勤務が始まり、H26年2月からリハビリスタッフの早出・遅出勤務者が1名からそれぞれ2名体制となっている。このように看護部のみならず病院全体で転倒予防の取り組みのためのマンパワー充実を図ることで患者様の院内生活はより一層安全になると考える。

図1 早出・遅出時間の転倒率(%)



図2 早出・遅出時間にしめる転倒の割合(%)



陶芸(芸術活動) りらいふ通信 Relife info

デイケアサービス りらいふ
 お問い合わせ 04-2928-7677

今回は芸術活動で行っている陶芸のご紹介です。

芸術活動の中でも特に人気の活動です。陶芸は専門の道具がないとできないため、「やってみたくて、教室に通うのも大変だし…」、と思っている方も多いのではないのでしょうか? りらいふでは施設にて陶芸用品を揃え、先生をお招きして製作し、かたちができた器は先生の教室の釜をお借りして焼くという方法で行うため、とても気軽に楽しむことができます。もちろん完成した作品はお持ち帰りいただけます。

それでは先生のご紹介です。



陶芸&カルチャー教室
T・ING
 所沢陶芸教室
 ティーイング
 代表 鶴田 紳 講師

月曜日の陶芸講師をしております、鶴田紳と申します。土の感触、作る楽しさ、出来上がりの喜びを感じていただける時間になるよう、お手伝いをさせていただきます。是非とも一緒に陶芸を楽しみましょう。



陶芸は頭や体にも効果があり、指先の運動(感覚を養い脳の活性化にもつながります)、コミュニケーション能力の向上、集中力の向上にも期待ができると言われます。

ご見学・ご体験は随時受付中です! お気軽にご連絡ください。

地域医療連携室かわら版 Information

地域医療連携室では、7名(うち、社会福祉士4名)の職員が勤務しており、入院の受付・相談や入院中の患者様の日々の相談・退院へ向けた支援をさせていただいております。

患者様は、所沢市在住の方だけでなく、近隣市(狭山市、入間市など)や東京など、他県から来られる方もいます。

入院のことやリハビリのことなど、わからないことや不安なことが多くあるかと思っておりますので、そういった心配事ひとつひとつに対して、お力になれるように支援させていた

だければと思います。
 まずはお気軽にお声を掛けてください。

見学を希望の方は、明生リハビリテーション病院地域医療連携室 石塚・大江までお電話ください。
 TEL 04-2929-2220



健康教室のお知らせ

Information

健康教室予定表

開催場所：明生リハビリテーション病院 リハビリ室

6/28(土) テーマ：転ばないための生活指導
発表者：リハビリテーション科
原田 泰裕、小野 彰悟

7/26(土) テーマ：ベッドから起きてくることの
重要性について
発表者：リハビリテーション科
小鹿野 匡俊、善平 朝彦

8/23(土) テーマ：退院後サービスを利用するには??
発表者：リハビリテーション科
西掘 大輔、野口 実紗



一般社団法人 巨樹の会

明生リハビリテーション病院

〒359-1106 埼玉県所沢市東狭山ヶ丘 4-2681-2

[西武池袋線] 狭山ヶ丘駅東口下車 徒歩 15分

タクシーをご利用の場合

西武池袋線小手指駅北口より約5分

お問い合わせ

TEL 04-2929-2220

FAX 04-2939-2136

交通のご案内

